

No. 13

9月号

令和5年
2023・8・20



日立市視聴覚センター通信
みて、きいて、学びを楽しく

みきまた

編集・発行
日立市視聴覚センター
〒317-0073
日立市幸町1-21-1
電話：0294-24-5055
FAX：0294-24-5066

参考資料:「ひたち物語—ひたちらしさの数々—」2021 日立市長公室
「新郷土日立 歴史」2007 日立市教育委員会

3 たなばたいそ 七夕磯伝説

特集

摩訶不思議 ロマンチックな逢瀬

夏の夜空を見上げると「夏の
大三角」を見ることができます。
その内の2つが、こと座の**ベガ**
(織姫星)とわし座の**アルタイル**
(彦星)で、天の川をはさんで
1年に一度の逢瀬の「七夕物語」
が知られています。実際には2
つの星の距離は約16光年も離れ
ていますので、会うだけでも命
がけです。

会瀬漁港の堤防先に引き潮の
時にだけ現れる岩礁・夫婦岩は
「七夕磯」と呼ばれ、年に一度の七
夕にまつわるロマンチックな伝説
が残っています。

昔々、7月のある夜、会瀬の浜が
昼間のように明るくなり、若い男
女が七色の雲に乗って、沖合の2
つの岩に舞い降りました。すると、
それまで静かだった波が、この岩を
中心にぶつかり合って飛び散り、そ
れが白い雲となって美しく輝きま
した。やがて、その雲を透かして、岩
の上で仲睦まじくしている男女の姿
が見えてきたのです。その不思議な出来
事に村人は驚き、「今夜は七夕なので
彦星と織姫星が舞い降りて、逢瀬を楽
しんだのであろう」と語りあったと伝
えられています。

今の「会瀬」は、江戸元禄期、水
戸光圀が「相賀」を改称した地名です。



私たちの民話紙芝居『七夕磯の不思議』
2019年 福田 暎 制作

『常陸国風土記』の助川の駅家の
記事に「昔この地は**遺寶**と名
付けられ、それは **倭武天皇**
が皇后とお会いになった場所
に由来する」と言われています。
このように「**出会い**」にま
つわる言い伝えがあることか
ら、会瀬町には、「七夕磯」伝
説が生まれたものと考えられ
ます。

当センターには、「七夕磯伝
説」を知るためのオススメの作
品『会瀬いまむかし』(21分・2008
年)があります。また、会瀬地区
の中世の城跡「相賀の館」を紹
介した関連作品『日立のまち案内
人が行く』part 3 (5分・2012年)
があります。

寄せては返す波音を聞きなが
ら夕べの浜を散策されてはいか
がでしょうか。

くうとしの

～あなたがそばにいて～

公開：1940年

時間：12分 貸出番号：1201284

原作：晴 脚本：照沼まりえ 音楽：蜂須みゆ
アニメーション制作：株式会社トマソン

認知症の犬(しの)と、介護猫(くう)の、感動の
実話をもとにした道徳・人権教育アニメーション作品。
しのに認知症の兆候が現れ始め、しのちゃんのことが大好
きなくうの 24 時間体制のつきっきりのお世話が始まり
ます。その様子に、ただただ…感心・感動です。

今月の
オススメ
六串

